

「DNTコーティング技報」発刊によせて



戦後の荒廃と虚脱の時代から復興期、その後の高度経済成長あるいはオイルショック、バブル経済の崩壊等、様々な起伏を経ながらも今日のわが国の発展があるのは、日本人の勤勉さに支えられた物づくり最優先の企業活動の成果であると申せましょう。

物的成熟社会といわれる今日、我々の生活は豊かになり、潤いと安らぎのある生活環境を得たかに見えますが、効率と利益重視の企業活動がもたらす環境への影響を熟慮するゆとりを持ち得なかった我々は、忍び寄る環境問題と真剣に対峙することを永らく怠ってきたのであります。

人々の健康を蝕み、訴訟にも発展しかねない産業公害、行き場のない産業廃棄物、更には酸性雨による自然破壊、フロン拡散によるオゾンホール拡大、二酸化炭素の排出増による地球温暖化等々、その相当部分が企業活動に起因する環境破壊は今や地球規模で対策に取り組まねばならない重要課題であり、“保護と美装”という効用を社会に提供し続けてきた塗料産業にとっても、決して他人事ではありません。

わが社は、塗料の高性能化への起点ともなったメラミン樹脂塗料やウレタン樹脂塗料、今日の環境対応形塗料の代表的商品である粉体塗料、水性塗料等、常に業界の先陣を切って多くのヒット商品を提供してまいりましたが、今また業界の先頭に立って人と環境に優しい製品づくりに取り組まねばなりません。わが社が環境保全を強く意識した企業活動への転換を図ることは社会的使命であり、且つ21世紀の激烈な競争の時代を生き抜く生命線であるとも言えましょう。

『技術』はメーカーの品位であり、企業理念を表象するものであります。新しい世紀の最初の年に発刊することとなった「DNTコーティング技報」は、環境に対応する塗料に関しての技術資料を中心に、わが社の最新の技術的成果を発表することとなりますが、これが研究員諸君にとって、より一層進取の気概を持って切磋琢磨される誘因となり、更には、日頃ご愛顧いただいているユーザーの皆さまをはじめ、業界に携わる多くの方々わが社の企業姿勢をご理解いただき、相互信頼の絆を強める媒体となれば、これに勝る喜びはありません。

「DNTコーティング技報」が業界のみならず、塗料に関与されている多くの方々にお役立ちできますことを心から期待しております。

平成13年10月

取締役社長 豊松正文